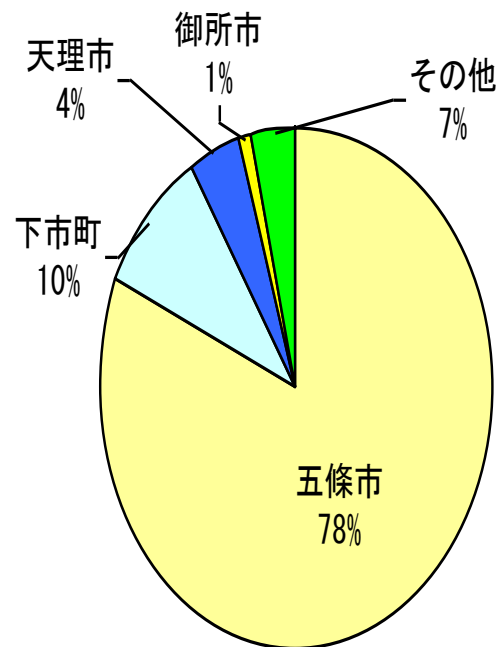




市町村別柿栽培面積割合



【五條吉野北西部地域】

五條市、下市町、天理市、御所市
全国有数の果樹産地を形成(カキ・ウメ)
〔柿生産量:全国2位〕

ハウス柿全国一位 450t 15ha

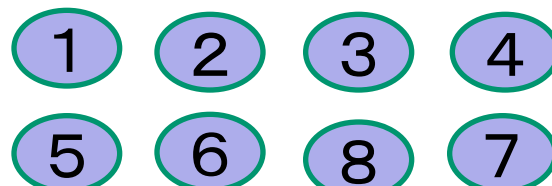
25年度	販売量(t)	販売金額
柿	16,852	39億1,131万円
梅	1,256	1億5,782万円

品種： 刀根、平核無・早生富有・富有

19. 柿 選果場の統合

本県の柿産地の90%を占める南部地域の柿産地に個々に点在していた選果場を9年、10年に統合し、21年には下市を組織統合し、一元化集約化による生産コスト低減化に結びつける。

8選果場



下市

4選果場



西吉野



五條



20. 取組の概要

・購買 生産資材のコスト低減

実需者ニーズに合わせ予約資材取引を展開し、(大口取引、直取引、早期引取等)に対応した奨励措置によるコスト低減を提案。

・営農 (土壌診断)

適正資材の把握のため、土壌診断を勧め、過剰肥料を避け、適正量の把握による資材コストの低減を支援する。

・利用(施設・機械)

施設並びに機械等の使用頻度と老朽化等を考慮し、メンテナンス修理、計画的な模様替えをもって、利用農家の生産コストを抑制安定に努める。

地域に点在していた選果場施設を統合し、数量確保実現による量販店対応による販路拡大化を図る一方、選果場生産費コストの低減化に努め農家所得の安定化に努める。

・販売機会の拡大

まほろばキッチンを起点とした事業展開により小規模農家を中心とする販売チャンネルを拡大し、地域住民と消費者のつながりを図る。

21. 主な事業取組

購買事業

組合員との接点・新密度をより認識し、出向く推進体制の実践により、多様な担い手に対応するとともに、肥料農薬の積み上げ運動を中心として取扱高の伸長に取り組めます。

- 1) TAC(営農販売専任担当者)38名
生産流通部会、水稻大口農家(2ha以上)、集落営農組織に対して、営農販売指導を行う。
- 2) TAC(低利用・未利用担当者)13名
販売、購買の低利用・未利用先農家の改善を図る。
- 3) TAC(営農販売担当者)27名
1)、2)の選定先を除く生者者に営農販売指導を行う。

営農販売事業

- 1) 「まほろばキッチン」をJA直売の地産地消の拠点として農家所得向上と生産者と消費者との交流による食と農の応援団づくりを進めます。
- 2) 地域特産品の振興・基幹品目のブランド化への取組み、指定市場への情報強化等並びに直売・直販の利用促進による販売機会拡大を図り、生産者の所得拡大に努めます。
- 3) 地域農業の維持発展を目指し、世代交代に向け、行政と連携した農業後継者の就農支援や集落組織の立上支援等、担い手育成確保に取り組めます。あわせて地域農業の遊休農地解消にも努めます。

22. 主な具体策の概要

・営農指導体制の強化

営農専任担当者を78名を任命し、地域における課題をテーマに、年間通して課題可決の取組を行います。また階層別に絞った担当者による営農販売、購買推進等に取り組み営農経済全体事業に結びつけます。

営農指導担当者にタブレット端末機を常備させ、現場での病虫害防除や防除薬剤情報等含め営農情報をより素早く応えられるよう体制強化に努めています。

簡易的な現場で利用できる土壌診断器具を(営農経済センター)配備させ生産農家の肥倍管理を支援します。

・耕作放棄地の対策

関連会社のJAサービスや担い手集団と協力体制により農地集積や作業受委託の取組を行い、地域農業の保全と活性化に努めています。農地保全推進担当者6名を配置させ日本型農業直接支払制度を推進し集落の共同活動を支援し地域農業の活性化に努める。

・地域住民と一体となった農業振興と環境保全

アグリスクールや直売所消費者等の食農教育やクリーンハイキングや生協とのコラボによる募金活動等を通じ環境保全等、地域貢献活動によりJA事業に理解を深める。

23. 平成25年度 アグリスクール取組実績

食育活動の推進

	奈良・天理・山辺	郡山・生駒	桜井しき・宇陀	橿原・御所・高市	北葛	五條・吉野
実施期間	平成25年5月～平成26年1月	平成25年5月～平成26年3月	平成25年5月～12月	平成25年6月～12月	平成25年6月～12月	平成25年5月～平成26年3月
開校日	平成25年6月15日(土)	平成25年5月25日(土)	平成25年5月18日(土)	平成25年6月15日(土)	平成25年6月23日(日)	平成25年5月18日(土)
実施予定回数	5回	5回	7回	4回	6回	5回
募集対象人員	管内小学1～6年生 30名	管内小学3～6年生 19名	管内小学3～6年生 32名	管内小学1～6年生 35名	管内小学1～6年生 29名	管内小学1～6年生 各回20名
参加料	3,500円／年間 キッズ会員は3,000円	5,000円／年間 キッズ会員・ちゃぐりん購読者は4,000円	8,000円／年間 ちゃぐりん購読料含む	3,500円／年間 キッズ会員は3,000円	2,500円／年間	0円～2,000円 イベント内容、会員形態により異なる
カリキュラム	①6月：開校式・田植え・大豆播種 ②8月：調理・工作 ③9月：体験旅行(キッズと合同) ④10月：稲刈り・大豆収穫 ⑤1月：閉校式・味噌づくり	①5月：開校式・野菜苗定植 ②6月：田植え ③7月：夏の課外活動 ④10月：稲刈り・さつまいも収穫 ⑤3月：閉校式・いちご狩り・料理教室	①5月：開校式・南瓜定植・調理実習 ②6月：田植え ③7月：南瓜収穫・工作 ④8月：社会見学 ⑤9月：じゃがいも定植・社会見学 ⑥10月：稲刈り・感想文 ⑦12月：閉校式・じゃがいも収穫・調理実習	①6月：開校式・田植え ②8月：夏休みの思い出 ③10月：稲刈り・料理教室 ④12月：閉校式・もちつき・稲わらを使った工作	①6月：開校式・田植え ②8月：野菜の定植・収穫 ③9月：親子さつまいも掘り ④10月：稲刈り・クッキングフェスタ ⑤11月：秋の遠足 ⑥12月：餅つき大会・終了式	【フリースクール形式】 ①5月：開校式・さつまいも定植・農作物の勉強 ②6月：じゃがいも収穫体験・料理教室 ③8月：社会見学 ④10月：さつまいも収穫体験・調理体験 ⑤3月：閉校式・じゃがいも定植・いちご狩り
特 色	・担任は採用2年目の職員を登用	・キッズ会員、ちゃぐりん購読者は、参加料割引	・単位取得制 ・先生の役割を明確化	・キッズ会員は、参加料割引	・3年目の開催	・フリースクール形式

24. アグリスクール体験農業

親子参加による田植作業体験



親子参加による野菜収穫体験

